

製本のススメ

Vol. 178

一部の地域では緊急事態宣言も解除になりましたが、東京は未だに自粛をもためられていますね。人口も多いので仕方がないと思いますが、いち早く解除の方向へ向かってほしいものです。一日も早い収束のため 今しばらく自粛頑張りましょう！

今回は**中綴じ**の話し再びの②

さて前号に続き中綴じのお話です。中綴じ加工の魅力には「安価」と「短納期」があります。刷り本を加工会社に入荷してから場合によっては即日製品に仕上がるという事もあります。むろん予めスケジュールを組んでの事ですが、早くて安いのは助かりますね。しかし中綴じ加工ならば全てが安価で短納期とはなりません。何故でしょうか？

中綴じ加工は基本的にページ数（折丁の数）が少なく、背を針金で綴じれば出来上がりという加工工程数の少なさにあります。加工時間もかからず手離れもよいので、結果的に安価に繋がっているのです。工程数が増えると単価も納期も 並製本とあまり変わらない場合もあります、企画段階で十分な検討をしてください。

あくまでも簡易製本のため 用途はカタログや取扱説明書 パンフレット等に向いていますので、高級感を求める事には無理があります。最近では色の付いた針金も出てきました（使用には幾つか制限があります）

さて**中綴じ加工のページ数（折丁の数）については、4 頁分が最低です。**つまり**クルミ製本のようにペラ（2 頁）では基本的には加工できません。**その為 1 冊のページ数は**4 の倍数であることが必須**です。背を針金で綴じるため あくまでも用紙を半分に折り重ねて（入紙）していくので、見返しや紙替えによる扉をつけることができない事は 高級感に欠ける原因のひとつです。しかし 32 頁程度までならば、クルミ製本よりも安価で短納期です。



Tea break

マスク生活にもだいぶ慣れてきました。しかしマスクの生産が殆ど中国だとは気づきませんでした。改めて世界と経済の繋がりを確認したコロナ感染です。そんな中 布マスクが結構有効な事も再確認。飛沫感染を防ぐことは、大切なのですね。個性的なマスクも増えて 案外 会社のPRになるのではないかと思う事しきりです。社員用作業着に加えてマスクっていうのも楽しいかもしれませんね。

弊社 HP は www.isekiseihon.com

facebook は 「井関製本の日々」

by (株) 井関製本